

平成 26 年度 第 3 回 学校協議会報告

【日 時】 平成 27 年 2 月 16 日（月） 14 時～16 時 応接室にて

【出席者】

学校協議会委員：岩井 英雅（元府立学校准校長）大原 武史（寝屋川市立第一中学校）

神戸 尚史（校医、産業医） 中澤 良太（北水会 副会長）

准 校 長：中村 泰孝

事 務 局：溝端 茂樹（教頭）岩田 正巳（事務部長）北村 陽子（首席・養護教諭）

安田 晃（教務主任）沼田 慎也（生徒指導主事）湯村 悦和（進路指導主事）

舟本 孝雄（保健主事）宮地 耕介（4 年学年主任）森 照代（3 年学年主任）

林 雄大（2 年学年主任）中嶋 幹也（1 年学年主任）

1 開 会

2 会長挨拶

3 准校長挨拶

4 協 議

（1）平成 26 年度 学校教育自己診断と検討結果について

事務局より説明

- 各教科、教科書以外の教材として I C T 機器の導入や、活用可能な教室も増えた。
- 学校生活を楽しいと感じられる生徒を増やしていきたい。
- コンピュータの資格を取って将来に役立てたい生徒が増えてきた。
- 進路に関心をもつよう、次年度も講演会や進路ホームルームの充実を図る。
- 夏期休業中に進学、就職別に集め、集団指導ができた。学校外での単位認定の指導も積極的に行ってきた。
- 寝屋川市青年祭に生徒作品を展示するなど地域との積極的な交流を図っている。また、学校行事への保護者の参加率が年々増加の一途をたどっており、特に体育祭はこの 3 年間で 3 倍になった。
- 学校には何でも相談できる先生がいることが理想なので、もっと教育相談のアナウンスをしていきたい。今年度は 3 名の保護者がスクールカウンセラーのカウンセリングを受けている。
- 情報処理の役割として、ホームページの更新回数を昨年度より増やすことができた。
ホームページは、本校のことをよく知ってもらう大きなツールと考えており、今後も活用したい。

委 員

- 学校教育自己診断の回答数、提出率が生徒 43%、保護者 18%となっている。提出率を向上させるためにはどのようにすればよいか。

事務局

- 出席率が低く、生徒向けにはアンケートの機会を増やすことも方法の一つ。保護者向けは、現在郵送もしているが今後行う予定。

委員

- 登校できない生徒への課題はあるが、登校している生徒がアンケートに答えることで、自分たちにどのような形でプラスになるのか周知することは大切。別室登校も含めて、今後も定時制の果たす役割が重要になっていることは確かである。
- アンケートの分析結果がどのように学校教育活動に反映していくのかという指摘もある。入学したモチベーションや保護者の学校への関心が低くても、在籍する中で次の進路に向けてのスキルアップをしたり、登校することの体験や学び直しをしているところに注目すれば、アンケートの意義は出てくるだろう。
- 否定的なものが多いものに関しては今後どうするのか？例えば0時限目や土曜講座は今後どうするのか？

事務局

- 0時限目や土曜講座は単位修得の機会を増やす目的で開講されている。生徒自身が将来的な見通しを持って受講できるよう、アンケート結果などもアナウンスに活用できればよい。

委員

- 定時制で何を得て、将来に繋がるかが明確になればなるほど、学校の取り組みが生きてくる。だから、敢えて定時制を選択するというようになればよい。
寝屋定に進学することで次のステップにいけるのであればこんなにいいことはない。0時限の授業の話聞きながら、中学校と連携をとってやっていってほしいと思う。

(2) 第2回授業アンケート結果

(3) 学校評価

准校長

- 昨年度も第1回に比べて第2回の結果の方がよく、今年もすべての項目で第2回の方が2～3%改善している。大きく改善しているのは、「生徒意識1」（授業内容に興味関心を持つことができた）66.4%⇒74.8%と「生徒意識2」（授業を受けて知識技能が身についた）70%⇒76.1%
他校のデータも参考に今後は8割ぐらいの肯定率を目標にやっていきたい。

委員

- 学校教育自己診断の「落ち着いて学習できる」において、「落ち着いて」のとらえ方が「教室の雰囲気」か「自分の気持ち」なのか？質問をわかりやすくする必要がある。例えば、「授業中の教室は落ち着いて学習できる雰囲気にある。」など

事務局

- 今後検討する。

(4) 来年度に向けての提言

委員

- 進路の実績が伸びている背景に基礎学力講座や教員の研修など外部講師のセミナーなどの効果がある。進路実現に向け、効果が表れているのでさらに力を入れていただきたい。
- 配慮の必要な生徒への専門的な知識に基づいた対応力は今後も重要になる。
- 生徒が学ぶことに前向きになれるかは、指導の工夫が指標となるので、さらに頑張ってください。
- 保護者と学校の望ましい連携を今後とも継続してほしい。

准校長

- いただいたご意見を来年度の学校運営に可能な限り活かしていきたい。
子どもたちの伸びを多角的に見ることと、生徒のニーズなど生徒の実態に合わせたきめ細かい指導をやっていきたい。